



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2021.6.11

No 304

6月議会より



索道事業、指定管理者も応募できること。 総額2億6800万円超えの一大事業。 町負担は5372万円以上、今必要か？！



6月10日開催の総務経済常任委員会 で索道事業特別会計の審査が行われ、「50%補助制度が受けられないこと」が明らかとなりました。

それも議員の質問で「補助制度が受けられない時はどうするのか」との問いに「実は、計画が採択されず、50%補助は受けられないこととなりました」と明らかにしたのです。

質問がなければ、伏せられた可能性があります。当初の「50%の補助が受けられ、さらに残りの資金を全額起債すると、80%が交付税措置で、町負担は「総額×50%×20%=1割」で済むとの目論見は外れました。

こうなると、事業費全額を「辺地債」（借金）で借入れ、交付税措置を頼みに購入設備することとなりますが、その起債も「全額が認められるかどうか分からない」とのこと、一応事業費全額を予算化したとの説明がありました。予定の2倍以上、5320万円以上となることが予測されます。

（『認められる起債総額』×20%+認められなかった分を町が負担）

Q, 補助事業が受けられないと分かったときに、事業を見直し、例えばICゲート設置はやめるなどの対応が必要ではないか。

A, 本会議で質疑を受けた日6月4日に「事業が認められなかった報告」を受けた。全額を起債できるように予算化した。

白樺高原だけでなく、広域的にこの地域に誘客するためにICゲートシステムは導入したい。

（従来の発券システムの更新には1100万円。）

今回の新システム導入には 約4700万円。）

委員からは「なぜ補助事業とならなかったことの報告が最初になされなかったのか」

「だまし討ちのようなもの」との強い抗議がありました。結局委員会全員賛成で承認、本会議で本採決されます。

- ①国際スキー場と2in1スキー場に、最新式の降雪マシンを新たに固定式ファンタイプ14台、スティックタイプ33台を追加配置。（指定管理者からの提案のまま）
 - ②最新機器大量導入で気温が高い状況（-0℃）でも雪を作りスキー場のオープン日を周辺より早くして、スキー客の誘客につなげる目的で計画された事業。11/20オープンを目指す。（従来は12/10）
 - ③合わせてICゲートシステムを導入し、スキーヤーの動向を把握分析し、周辺への誘客を一体的に進めるとして計画されたもの。
- （Eight Peaks Resort 国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業/7スキー場6事業者とが一体的に協力して誘客を目指す構想/補助率50%・観光庁）

* 辺地債・・・事業費を起債で手当てした時に、その80%が交付税として国から交付される制度。

町の公営企業は独立採算を基本とするので辺地債は受けられなかったとのこと。



野方から中原を望む。

瑞穂の国
さわやかな初夏



今週のパチリ

今は朝4時も過ぎれば明るくなり、朝霧の漂う中の早朝は実にさわやかです。

田毎に早苗が植えつけられ、早いものではもう、20cmもの丈に伸びて、水面が見えないくらい分けつが進んで生育しています。

水田に山並みが映り、はるか遠くまで見渡せる清澄な空気、新緑の山々、そして早苗が生えそろう水田との取り合わせは農村のもっとも美しい景色の一つだと思います。心が満たされ、今年もまた、豊かな実りの予感がします。



【ワクチン接種】

- ・現在800人程度(6月9日報告) 30%を超えた。
- ・町役場から集団接種会場までの送迎は池之平ホテルのバスに委託 662.4万円
- ・ワクチン接種の医師会への委託料 621.6万円
- ・個別接種の報酬＝
(一人あたり2070円+税)×人数 1548.3万円
- ・予約受付コールセンターに常時1名確保
3名パートタイム採用など

【経済対策】

- 1、町民向け商品券 一人5千円分・・・順次配達中。
- 2、子育て応援
 - ①商品券、子ども一人1万円分
833人+転入・出産分。 858万円
 - ②ひとり親家庭には子一人に5万円支給済み。
 今回は二人親でもコロナで収入が落ち込んだ家庭に同様の支給を行うもの。およそ50人分予定。

- 3、事業所向け20万円支給・・・6月中旬にお知らせし、事業所より申請を受け付ける。商工会に委託し町が振り込む。飲食・宿泊・スキーなどのレンタル業・娯楽業に当てはまる業者は、所得証明は不要。

*本会議で村田は「指定業種以外でも売り上げが落ち込み厳しい経営者は多い。業種を拡げるべき」と求め「なぜ、4月13日に予算を通したのに、まだ始まらない、遅すぎる！」と強く抗議。課長は「特定業種だけでなく、経営が著しく厳しい会社も対象とするよう検討したので時間を要した。急がせたい」と応えました。同僚議員からも「いつになるのか。住民から問い合わせが来ている」として事業の早期開始を求める発言がありました。

【公共交通】



蓼科高校起点に。

大人200円/こども100円で。10月から。

千曲バス(株)「中山道線」が9月末で廃止。新たに佐久市・立科町共同で「蓼科高校～岩村田高校～佐久医療センター」路線を千曲バスに運行委託することに。運賃200円(これまで910円)

高速バスや貸し切りバスなどの収入で赤字を補填してきた中山道線もコロナ禍の乗客減でとうとう廃止が打ち出され、町はその代わりに模索してきました。

佐久市が市内循環デマンドバスが200円であることから、市境から蓼科高校まで4.6kmなので、引き続き「200円の料金」が打ち出されました。

佐久市と立科町の運行距離や利用者数の平均から負担割合は68%対32%となり、「総経費－利用料」の費用をその割合で求めると 町負担は570万円(令和3年10月～R4.3月まで)



【ひと月の定期代】

《通学》

- ◎中学生以上
1か月/7,340円 3か月/20,920円
- ◎小学生
1か月/3,670円 3か月/10,460円

《通勤》

- 1か月/8,560円 3か月/24,400円

【運行ダイヤ】

蓼科高校や佐久市内の高校などへの通学通勤のため、朝夕のみの運行とする方向は決まりましたが、具体的なダイヤは未定。

これまで白樺高原の子どもたちの小中高校への通学や、佐久市・上田市方面へのバス利用の通学費への補助制度を提案してきました、佐久市との共同により大幅な料金軽減が図られました。

2021核兵器廃絶長野県網の目
国民平和大行進佐久コース

6月26日 11:00 立科町役場 セレモニー

詳細が分かり次第またお知らせします。すでに50か国が参加して核兵器禁止条約は発効しました。条約に署名する政府に変えるよう、引き続き運動を強めましょう。



フォトポルタージュ

10年目の福島のリアル
一鎮魂と抗い

*6月13日(日) 13:00～
14日(月) 15:00

*スライド上映と報告
山本 宗補 氏

13日(日)午後 2:00～
視聴覚室

立科町中央公民館
ロビー・視聴覚室

主催:9条を守る立科の会/金光(56・1952)

今週です

入場無料

換気・消毒など、対策を
してお待ちしています。
マスク、ドリンクなど
お持ちください。